

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2  
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ  
「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになる

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第 1972 回例会 2019 年 4 月 4 日 (木)

「3RC (美濃・関・関中央) 合同親睦お花見例会」 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録 第 1971 回 2019 年 3 月 28 日 (木)

「C. A 会長エレクト研修セミナー報告」

担当 副会長

\*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

\*会長あいさつ 波多野篤志会長

皆さんこんばんは。本日は、次期会長吉田和也君の会長エレクト研修セミナー報告です。来年度のガバナー方針等を含め報告してくれると思います。よろしくお願ひします。先週の 21 日木曜日に、味の孫六さんと、次期委員長会議を会長エレクトの吉田和也君の進行で行いました。今年度は、新しい試みで、次期委員会にプラスとして地区役員としてクラブ研修リーダーの選出が必要に成りました。詳しいことは後程報告してくれると思います。次年度のホストクラブとなる行事としては、岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会と秋季親睦ゴルフ大会の順番が当たっています。毎年行う事業と日程が重なるため日程調整に苦労しています。又、来年度も RC



財団の補助金を使った事業を計画し申請しました。

ここでプロジェクトの簡単な説明をしたいと思います。プロジェクトの方針としては、「森林整備から農業体験を通じて食育を考える」としました。事業全体の主要説明は、次の様にしました。

関中央ロータリークラブは、永年に渡り、森林整備や河川清掃ボランティア・海外との交換学生事業を行い、下は幼稚園から上は高校生まで幅広く人材育成や基本的教育の向上に努めて来ました。子供たちに夢を与える科学の世界を幅広く知ってもらい、また、夏休みの宿題や自由研究の手助けになるような勉強会を開催しました。当クラブは、創立以来、青少年育成及び環境保全活動に重点を置き、活動して来たことから次は、植物・生物について学習の機会を与えたいと思いました。将来を担う子供たちに森→川→海の関わり大切さを認識して頂き、豊かな自然環境を守り抜く心を養ってもらふ事業の開催が良いと思ひ計画しました。

里山整備を通して森・川・海へとつながる水環境・自然循環の大切さや守ることを学生に教える。コメ

つくり・農業体験をすることにより、子供たちの環境に対する意識の向上を図る。食育を通じて、自然環境の維持や自給自足の大切さを学ぶ。この活動の効果を地域の将来を担う子供たちに本プロジェクトを通して伝え、次世代の環境リーダーの育成を目指したいと考えます。また、このプロジェクトを通して成長した子供たちが、将来この地域の環境向上に貢献してくれると確信しています。としました。

この活動を通じて、広く一般の方に事業を知っていただく、広報活動が大切です。又、全会員の参加が必要となります。開催日ごとに分担して行いますので、いずれかの日には出席していただきますようご協力をお願いします。

#### \*会長エレクト研修セミナー報告

##### 吉田和也会長エレクト

今回は、クラブアッセンブリー会長エレクト研修セミナー報告という事で、先日3月9日三重県津市ホテルグリーンパークにて行われました、会長エレクト研修セミナーPETSの報告をさせていただきます。このPETSの参加により、さあいよいよクラブの会長としての職務が始まるのかという、大変な不安や緊張に押しつぶされそうになりますが、何とか皆様のご協力を頂戴しながら1年間頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、当日ですが懇親会等も開催されると聞いていたので、ゆっくり三重の地でお酒を頂き宿泊をして参加したいと思いましたが、次の日の日曜日に孫のお宮参りの予定がありましたので、泣く泣くお酒を飲むのを諦め、車で向かう事といたしました。ですので、美濃クラブと関クラブの会長エレクトに声をお掛け致しまして、一緒に私の車で会場に向かいました。途中、名阪の四日市～亀山の間で渋滞致しましたが、時間前にスムーズに到着致しました。道中お二人と色々なお話をさせて頂きながら向かい、意外と有意義な時間を過ごす事ができました。何か後ほど聞いた情報では、名鉄で事故による電車の遅延があったようで遅刻して見えた方もおりました。セミナーは10時～10時30分受付の後、10時30分から開会セッションに始まり昼食をはさみながら、



第1セッションから第6セッションの後、閉会セッション終了の16時50分までみっちり勉強させて頂きました。

開会セッションでは、点鐘、国歌・ロータリーソング斉唱、出席者紹介の後、木村ガバナー、剣田ガバナーノミニが挨拶されました。木村ガバナーのご挨拶で今回のセミナーには3つの大きな柱があるとお話しになりました。1つ目は世界で良い事しようというロータリーの理念のもと各クラブにおいて様々な奉仕活動を計画、実行する事、2つ目はロータリーの大切な基本理念、奉仕の理念を再確認する事、又3つ目としてクラブの基盤の充実をして、クラブを魅力あるものとして会員増強し、活性化させる。又新入会員にロータリーを理解してもらうための研修の重要性をお話になりました。

PETSプログラムはその時々ガバナーエレクトが作成されるそうですが、今回のプログラムは、辻ガバナーエレクトの研修を重視した思いのこもったプログラムになっているとおっしゃって見えました。後ほどクラブ研修リーダーの設立についてお話をさせて頂きますがこの辺りが、研修を重視されている思いかと考えました。

次に剣田ガバナーノミニのご挨拶がありました。2度目のガバナーをお請けになられるわけですが、何が驚きかというご本人が2度目のガバナーをすることより、クラブが2回も1つにまとまったことが何よりの驚きで本当にクラブに感謝すると、おっしゃって見えました。

第1セッションでは辻ガバナーエレクトよりRIテーマ、地区活動方針についてお話がありました。2019年から2020年度国際ロータリー会長のマーク・ダニエル・マローニ会長のテーマ、ビジョン声明の発表がありました。テーマ等につきましては、次年度の運営計画書にて発表させていただきますのでその時までお楽しみとさせて頂きまして、辻ガバナーエレクトがお話された事は、様々なロータリークラブの活動の現状を例に出されまして、今ロータリークラブ、会員の在り方が変化しているとお話しされました。グローロータリー、会員を増やすだけでなくその中身が大切、家族、仕事の同僚、若い人を

大事にして会員増強をする。大変な役が廻って来ると躊躇する方が多いようですが、仕事があっても役ができるロータリーにしなければいけない。又、仕事があるからロータリー活動、職業奉仕を通じて社会奉仕活動に貢献できる。青少年交換、インターアクト、ローターアクト事業を通じて若い人材を育てていく。

又、RI 事務局長ジョン・ヒーコ氏の、アップル OR コダックのお話をされました。皆様ご承知の通りアップルは常に新しい事に挑戦し業績を伸ばしている会社です。一方コダックは過去には一世を風靡しましたが既存商品のみの販売により今は無くなってしまっております。この事をロータリーの運営の考え方に置き換え、常に時代の変化を取り入れ、柔軟さを持ちながら、より良い変化の為に奉仕していく持続可能な組織にならなければいけないと言われました。会員 1 人 1 人が考え、それぞれのクラブに合った方法で活動して頂く。という事で次年度ガバナーのテーマを発表されました。このテーマも次年度のお楽しみとさせていただきます。ロータリーの 3K「来て、食って、帰る」こんなクラブになる事に無い様がんばってくださいと、最後締めくくられました。

第 2 セッションはロータリーの研修の在り方という議題で地区研修リーダー剣田廣喜様よりお話がありました。辻ガバナーエレクト年度より新たに地区研修委員会が設置されます。辻ガバナーエレクトは、昨今例会、出席に規制緩和が取り入れられ奉仕哲学の追求より、奉仕活動の実践が重視され、例会はもはや人生の道場ではなくなりました。このままではロータリークラブでの研修、教育機能が衰退して、ロータリーを学ぶ意欲の乏しい会員が増え、ロータリーとは何か分からない会員が増え、やがてはクラブの衰退につながっていくことを危惧され、又、地区での、開催のセミナー、研修会が多い、本来は研修、セミナーはクラブ単位でやっていたものを、地区が開催するように変化してしまったとの事より、クラブレベルでのロータリーの研修を強化、充実するため、クラブ研修リーダーの設置を、今年度地区の重点項目にあげました。地区研修委員会の役割としましては、ガバナーや地区委員会が継続的にロー

タリアンに対して行うセミナーの実施を支援したり、ガバナーエレクトが主催する、地区研修行事を、地区の関連委員会と協力、お手伝いをします。又、新設のクラブ研修リーダーを、ガバナー補佐と連携をとって、クラブ研修を応援致します。そこでクラブ研修リーダーを 3 月 31 日までに任命するよう、今回のセミナーで言われましたが、本当に急得を得ない私の説明にも関わらず、川上勉先生には大変快く、クラブ研修リーダーを、お引き受け頂き誠に感謝いたします。一度ご足労頂きまして、地区より説明会があるとの事でしたので宜しく願い申し上げます。

第 3 セッションはロータリーの奉仕の理念という議題で、次期地区研修リーダー 田山雅敏様よりお話がありました。奉仕の理念という大変分かりにくいお話の中、職業奉仕の理念につきまして、様々な考え方の中、それぞれの会員一人の考え方を 1 本の木に例え、ロータリアンの数だけ様々な木がり、その木が集まって全体を構成しているのが森であるという見方をしてはどうか、職業奉仕というのは、異なる様々な木が互いに影響しあって生い茂っている森林のような存在という事でその中で、自分なりの職業を通じての奉仕ができれば良いのかな?と思いました。

又、クラブ会長として最大の仕事は、有意義で、充実した例会を行う事といわれました。例会において、心洗われる感動的なスピーチをするようにとお話しされましたが、本当に、皆様の前でお話するのは大変苦手で、そんな立派なスピーチはできませんのでご勘弁頂きまして、しかしながら、誰もが、今日も来てよかったと言われるような例会作りを心掛けたいと思います。又、地区会合とロータリー国際大会の出席を奨励するように、と言われました。私の年度のロータリー国際大会はハワイで開催されるそうです。是非皆様参加されるようお願い申し上げます。私はとてもいけません・・

第 4 セッションは会員基盤強化とクラブの活性化という議題で、バストガバナーの石垣知康様よりお話がありました。まず、公共イメージと認知度の向上が必要といわれました。公共イメージと認知度の向上が進めば、より多くの人材が集まる、意欲の向

上につながる、活動が活性化する事になると申され、やはり会員増強につなげていくことが大切だと思いました。又、ロータリーの最大の財産は、会員と申され、会員増強でロータリーの未来を託す人材を得て、次の代へとつなげていかなければならないと言われました。その会員獲得のターゲットは、若い職業人や女性等、色々なお話があった中、最近新しい職業が増えているので職業分類を見直したらどうか?と言われ、なるほど今一度再確認をするべきだなと思いました。最後に、会長エレクトは、ロータリーの素晴らしさとして、1. 人生を彩る出逢いがある。2. 優れた人生の行動指針を持っている。3. 世界を変える人道奉仕の一端を担う事ができる。この様な魅力を備えた団体である事を再認識し、又このことを強調してアピールし、会員増強に努めなければならない。というお言葉を頂き、私もすっかりこれらの事を考えて行動しなければならぬという身の引き締まる思いになりました。

第5セッションはロータリー財団の説明が次期ロータリー財団部門委員長の平井義之様からお話されました。世界で良い事をしよう、というロータリー財団の標語の発表に始まり、様々な寄付の説明がありました。色々な寄付がありすべてが理解できませんでしたが、我がクラブも地区補助金を使わせて頂く事業として、今年度、波多野篤志会長のひとり親家庭の子供学習支援プロジェクトで、名古屋市科学博物館の見学を実施致しました、又、次年度は、森林整備から農業体験を通じて食育を考えるというプロジェクトで小学生を対象として、森林整備例会、長良川環境保全例会に参加し山、川、海の自然の関わりを学習して健全な里山の重要性を認識してもらいながら森林整備を行う、手作りで食べ物を調理する体験をして、食育の中での自給自足の重要性を学んでもらう、河川整備や水質調査を行い、現在の状況を知ることにより我々が暮らしている地域の河川、自然環境の大切さを学ぶ、米作りの農業体験を通じて食育や、環境への意識の向上を図る。という事業を計画しておりますので、皆様多数のご出席とご協力をお願い致します。

最後に第6セッションですが、奉仕プロジェクト、

社会奉仕、国際奉仕、インターアクト、ロータリーアクト、青少年奉仕、青少年交換、米山記念奨学の各委員がそれぞれの各次期委員長よりお話がありました。第6セッションは、その中で気に留まった所をお話させて頂きと思います。我がクラブも関商工インターアクトクラブのスポンサークラブとなっておりますが、8月3, 4日にインターアクト年次大会が高山RC、斐太高校ホストにより行われると発表がありました。又、今年度は岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会がスポンサークラブ 関中央RC ホストクラブ 関商工高校で開催されます。11月9日場所はアピセ関の予定で進めてまいりますので、伊佐地次期インターアクト委員長をはじめ、皆様ご協力をお願い致します。又、米山記念奨学で、昨年からの世話クラブの依頼を、大学の距離、クラブの人数に関係なくすべてのRCに順番に依頼するという事になったそうです。過去5年一度も受け入れをしていないクラブを順番に当てているようで、2020年4月～2021年3月まで我がクラブが世話クラブとなるそうです。世話クラブはカウンセラーを1人選任し、日常の相談相手や交流の橋渡し役、月1回の例会訪問の日時調整、例会場までの交通手段のない場合の送迎等のお世話をさせて頂かなければならないとの事ですので、又皆様にはご相談をさせて頂かなければならないと思いますので宜しくお願い致します。

これにてセミナーは終わり閉会セッションを迎える事となりました。閉会セッションでは、地区大会が11月16, 17日に津市のサオリーナに於いて行われると発表があり、又例年と違いまして、RI会長夫妻を囲んでの晩餐会を参加者全員参加の大晩餐会として執り行われると報告されました。この辺りの段取りは幹事と相談して又ご報告させて頂きます。最後に修了証書を頂きまして、会長エレクト研修セミナーが閉会致しました。その後の懇親会はお酒を我慢しなければなりませんでしたが、少々物足りない所もありましたが、三重県の御馳走を頂きましてありがとうございました。

今回の研修で、すべてのロータリーの活動を理解できたわけではございませんが、少くクラブが現在係わっている事業に関しては勉強できたように思い

ます。今後も色々と勉強させて頂き皆様にご迷惑のかかる事の無い様に次年度、関中央ロータリークラブの会長として恥じぬよう頑張っまいるたいと思っておりますので、皆様にはご指導ご協力を頂きませう様お願いを申し上げます、本日の会長エレクト研修セミナーの報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

#### **\*出席委員会**

会員数 32 名、本日の出席 18 名です。

#### **\*ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

本日は次期会長吉田和也君の会長エレクト研修セミナーの報告です。各委員長様、話をよく聞いて頂き次年度の活動計画をよろしくお願ひします。

・広瀬恒行君

吉田君、PETS の報告ご苦労様です。

18 名のご投函ありがとうございました。

#### **<次例会の案内>**

第 1973 回 2019 年 4 月 11 日 (木)

「青協建設 新社屋見学例会」 担当 会計監査